

コロナ危機と高齢者施策

鈴木 外出・交流の減少など高齢者へのコロナ禍の影響は深刻。見守り活動での通報と対応は。

健康福祉部長 通報55件中、入院中等34件、死亡11件、救急搬送9件、福祉部門による対応が1件。

鈴木 命を守る役割は大きい。見守りの取り組みを広げるため、交流誌発行を要望。老人福祉センター・老人憩いの家の状況はどうか。

健康福祉部長 感染防止のためのイベント中止等で利用者数は減。

鈴木 個人利用の減少傾向が気になる。感染防止上の限界はあるが、居場所として個人も利用しやすい環境を要望する。3大プロジェクト

エクトの一つ「超高齢化社会に対応したまちづくり」での取り組みについて市長の見解はどうか。

頼高市長 認知症対策も含め大きな影響がある。その中でも工夫し、可能な対策を行っている。当面、ワクチン接種をしつかり進め、従来の取り組みの再開に当たっては、市民の不安や様々な難しさにも丁寧に対応しながら進めたい。

大規模水害への対策

鈴木 6月議会で、大規模水害対策として居住環境や地域特性による避難方法を市民が検討できるような対応を要望した。その後、「荒川氾濫時の避難行動判定フロー」が作成・配布されたが、今後の周



鈴木さとしのプロフィール

- 市議5期、党市議団長、総務常任委員会委員、党市委員長 社会保障をよくする藤の会副会長
- 家族は、妻と子3人
- 中央5-9-7 ☎444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目 中央1・3・4・5丁目

生活相談などお気軽に

ツイッター・フェイスブックでも発信中



蕨市立病院：身近な病院・急性期を担う病院として役割はますます重要。

コロナ危機と市立病院

市立病院は地域の基幹病院として、コロナ危機の中、大きな役割を担っています（一面記事参照）。そうした中、国会で「高齢者医療費負担2倍化法案」とも問題になっているのが「病床削減推進法案」。コロナ危機で求められる「医療確保」に逆行し、市立病院の将来にも重大な内容です。これからも「地域医療守れ」の願いを掲げ、全力で頑張ります。

知・活用についての取り組みは。市民生活部長 新年度に一部改訂を予定する洪水ハザードマップで、啓発面に想定浸水深表示や避難行動判定フローを入れる等周知する。鈴木 さらに個別の避難方法を検討する出前講座や自主防災会担当者の学習会等の検討を要望する。◆他に、留守家庭児童指導室の体制拡充、町会活動への支援等について質問しました。

日本共産党市議団の一般質問

日本共産党市議団は全員が一般質問を行いました。以下、各議員の質問の概要・テーマを紹介いたします。

やまわき紀子議員

- ◆市民負担増につながる県国民健康保険運営方針（第2期）について市の対応はどうか
- ◆「子育てするならわらび」保育行政や子育て支援の推進を
- ◆見通しのよい公園へ改善を要望



武下涼議員

- ◆【武下】子ども達が自由に遊べる空間の確保を
- ◆【市長】ボール遊び等の問題を考えていきたい。
- ◆ほかに「いのちを守るためのアウトリーチの推進を」自殺予防対策の観点から、相談窓口の周知強化を要望しました。



宮下奈美議員

- ◆高齢者の「ミニ出し支援「ふれあい収集」の実施を
- ◆子どものメディア依存、健康被害について
- ◆ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度の拡充を求める
- ◆第3次蕨市DV防止基本計画

